

いわてのNPO・ ボランティア活動情報誌

いわてのNPO・ボランティア活動を
笑顔でつなぐパイン



特集 新しい可能性

「学校でも家庭でもない
居場所づくり」 02-03

団体活動紹介

「復興のいま」

04

Information 05-06

県からのお知らせ

岩手県社会福祉協議会からのお知らせ

NPOお悩み相談室 07

NPO活動交流センター
からのお知らせ 08

【表紙のご紹介】

冬の室内運動会

1/19(日)にいわて県民情報交流センター(アイーナ)で子育てサポートセンター主催による「冬の運動会」が行われました。

この日は「かけっこ」や「玉入れ」「障害物競走」など様々な種目を行い、参加した子供たちとお父さんお母さんは、みんな笑顔がいっぱいでした。

特集 新しい可能性

学校でも家庭でもない居場所づくり

NPO法人 ゆう・もあ・ねっと

平成23年設立。子どもたちの地域との交流を大切にした居場所づくりや、小学生親子を対象とした食育授業など、子育てを社会全体で支援する活動を行う。



代表の佐藤さんにお話を聞きました

きっかけは、何気なくやってきたこと

私が紫波町に引っ越してきた頃、小中学校の図書室の蔵書をデータ化する作業や、読書推進のためのボランティア募集があり、週に3～4日くらいですが小学校の図書室でかわいい子どもたちと絵本を楽しみました。

そのあと、地元の小学校と地域をつなぐ地域教育推進員として、またしても子どもに関わる機会をいただきました。具体的には正月のお飾りを地域の方と子どもたちと一緒に作るなど、楽しい企画のコーディネートを行ってきました。これが私の活動のきっかけになりました。

広がる活動と交流

そこから、「子どもの居場所づくり事業」「町内の親子への食育推進事業」で活動の幅が広がっていきました。また被災地の方たちと交流を深めようと、沿岸で開催の追悼イベントに参加して避難体験をしたり、紫波町の子どもたちの思いを被災地の子どもの施設に届けるイベントを計画したところ、町内日詰小学校の

子どもたちが手土産にするケーキ作りに大勢参加してくれました。

目についた光景

10年近い活動の中で、教室に入れない子どもたちや少し元気がない子どもたちの存在が気になり始めていました。学校や家庭での様々な不安を抱えた子どもたちのため、去年は相談室の子どもたちと地域の大人が交流する事業を開催しました。ものづくりや手作業など地域の人との何気ない会話で楽しい時間を過ごし、子どもたちが元気を取り戻すきっかけのお手伝いと思っています。

NPO法人ゆう・もあ・ねっとの活動の中で、また、紫波町市民活動支援センターのゆいっとサロンのスタッフとしてもできる限りの支援に心がけています。

やる気を伸ばそう

様々な内容を考え企画している「子ども教室」に何度となく参加してくれた子に、ある日「おじいちゃんに送る年賀状に、自分がデジカメで撮った写真を入れたいから教えてほしい。」と言われ、デスクトップパソコ



上手にできるかなあ？



ドロなんて気にならない♪

ンなので自宅まで行って彼の隣に腰掛け、撮りためた写真を年賀状に入れてあげたことがありました。

そこから彼は、パソコンを夢中になって学習し、時々レベルアップの報告にも来ました。いつの間にか、クラスでも「パソコン博士」という存在になり、長期休みの計画表作成など、生活の中にパソコンをどんどん活用するようになり、当然上達もすぐでした。

現在は中学生、勉強の合間に手伝いに来てくれ、HPをちょっと更新、嬉しいですね。

コーディネートとまちづくり

人と人、人と行政、行政と団体、人との、人と事などをつなぐコーディネートがとても面白いと感じています。私の中で、コーディネートは、様々な状態や状況を受け入れ、「親切、親身、丁寧」に解決のきっかけを共に探ることだと考えます。そして、そのようなことの積み重ねが広義の意味の中間支援になるのかなと思います。

少し漠然となるかもしれませんが、何気ない出会いが少しだけ人生を変えることがあります。是非、最初は趣味の活動でいいですので、行動してみることをお勧めします。

活動を継続していくうちに、だんだん見えてくるものや、感じるものが出てくるかもしれません。そのような社会や地域の状況に対して、まずは気づいた人が解決にむけて活動を始めてみましょう、一緒に。

やさしいまちづくりを目指す

私たち「ゆう・もあ・ねっと」という団体名の由来は、You more (ユーモア)「あなたと、今よりもっと仲良く、あなたの事をもっと知りたい、あなたがより輝くようにと、ユーモアを忘れずに!」との想いから、メンバー異議なしでこの名前になりました。

家庭での日々日常や子育てに不安を持っている方や、学校に居づらさを感じている子どもたちや、あるいは何かを《始めたい》《知りたい》《広げたい》《つながりたい》のサポートをしていき、これからもみんなが輝き、みんなにやさしい「まちづくり」を目指していきます。



届けみんなのメッセージ!!

NPO法人 ゆう・もあ・ねっと

住所：〒028-3301
岩手県紫波郡紫波町中島字桜田61-16
TEL：019-672-1398
E-mail：kyami2975@yahoo.co.jp
URL：
<http://youmorenet.web.fc2.com/index.html>

団体活動紹介

復興のいま

NPO法人 P@CT (パクト)

平成23年設立。東日本大震災を受け、陸前高田市災害ボランティアセンターの有志スタッフにより結成された地元発の復興支援団体です。また被災者の支援活動だけではなく、地域の活性化を目指し活動しています。



全国の仲間が活動しています

「P@CT」(パクト) の三本柱

私たち「P@CT」(パクト) は、東日本大震災で被災された方々へ継続した支援を行い、地域活性に寄与することを目的に活動しています。

その活動内容は現在、「復興サポートステーション」「子ども支援」「二又復興交流センター」の3事業を活動の柱として行っています。「復興サポートステーション」ではボランティアを募り、現在は古川沼での瓦礫撤去や分別を主な活動としております。実際の活動では、写真などの思い出の品に交じってお骨らしきものなどが発見されることがあります。私たちはボランティアの皆様のご協力のもと、これらを少しでもご家族の元へ戻せるよう活動していきます。

また、地元の方々から寄せられる個別ニーズにも対応し、地元へ根付いた活動を継続していけるよう努力していきます。

「子ども支援」は震災後、体を動かす機会の減少や、遊び場が少なく制限された生活をおくっている子どもたちが気軽に集まり、遊びや勉強が行える居場所をつくることを目的とした「みちくさルーム」の開催を中心に活動しています。この「みちくさルーム」には県内外の学生がボランティアとしてご協力くださっており、新しい交流やつながりが生まれると考えています。

最後の「二又復興交流センター」は、「ボランティアに参加したいものの、市内に滞在先がない。」という多

数の声に応えるため、陸前高田市が統廃合により閉校となった小学校を宿泊施設として改築した施設であり、現在P@CTではこの「二又復興交流センター」の指定管理事業者として施設の運営・管理を担当させていただいております。

同センターはボランティアの方だけでなく、お仕事や観光、帰省など様々な用途で陸前高田市を訪れる方にご利用いただいております。また、地域の方々にも会議や寄り合い、お茶会などにご利用いただき、市内外の方々の交流や憩いの場としてもご活用いただくことを目的とし、様々な出会いやつながりの場をご提供ができるよう取り組んでおります。

被災地のいまとこれから

東日本大震災が起きたあの日から3年が過ぎようとしています。被災地域を見渡すとガレキは少しずつなくなっていく、新しい建物が増えてきています。しかし、被災された方々がおかれる環境は、大きく変わっていないと感じます。仮設住宅に住み生活の基盤を作っても、また別の場所へ移り住まなければいけないという、将来への不安がある方は今でも多数いらっしゃいます。それとは逆に、被災地への関心は薄れつつあるように感じます。私たちは今までの活動から得たつながりを大切に、これからも継続して陸前高田市を訪れる方々の窓口・導線となるのが大切だと考えております。そのため、柱となる3事業をしっかりと運営し、自分たちの活動の根幹となる足場を固め、そのことで地域が活性化されることで、住民の方々が少しでも日常の生活に戻れるよう取り組んでまいります。

NPO法人 P@CT

住所：〒029-2204 陸前高田市気仙町字町23-1
TEL：0192-47-4977 E-mail：p@ct311.org
URL：http://pact-rt311.org/

二又復興交流センター

住所：〒029-2201 陸前高田市矢作町字愛宕下11-1
TEL：0192-58-2590

岩手県からのお知らせ

「復興支援の担い手の運営力強化実践事業」実施状況と成果報告会

東日本大震災津波の発災から3年が経過しようとしていますが、NPO法人などの民間非営利組織により、仮設住宅のコミュニティ形成や見回り支援、内陸に避難した方々への情報提供など、様々な支援活動が継続して行われています。

こうした中、県では復興支援の担い手であるNPO等が行政と協働して行う復興支援活動の取組みに対して活動費助成を実施しています。今年度の事業には54件の応募があり、「岩手県NPO等復興支援事業審査委員会」による審査の結果21件の事業を採択し、県内各地域で復興支援活動が実施されているところです。

昨年12月には、審査委員が活動現場を訪問し6



『「復興の森」再生キャラバン事業」を実施しているNPO法人吉里吉里国(大槌町)へ訪問。現場を視察しました。

助成金 情報

「日本労働組合 連合会」より

【対象団体】

1. 地方連合会の推薦がある団体。
2. 連合組合員およびその家族、あるいは退職者が、積極的にNPOなどの運営に参加している団体。
3. 地方連合会が日常的な活動で連携している、NPO等の団体。(構成組織が推薦する場合も地方連合会へ申請すること。)

【対象となる社会貢献活動】

1. 大規模災害などの救援・支援活動

団体から事業の進捗状況や課題を聞き取り、各団体とも様々な制約の中で成果を挙げていることを確認してきました。

また、今年2月には事業実施団体による成果報告会を釜石市で開催することとしております。NPO等の復興支援活動を知っていただく良い機会ですので、ぜひ多くの方に御来場いただきたいと思います。詳しくは、県庁NPO・文化国際課(TEL：019-629-5198)までお問い合わせください。

【成果報告会】

日時：平成26年2月22日(土)13:30～16:30

会場：釜石地区合同庁舎4階大会議室



「復興支援に向けた情報共有・情報活用推進事業」を実施しているNPO法人@リアスNPOサポートセンター(釜石市)へ訪問。関係者から進捗状況を聞き取りました。

2. 戦争や紛争による難民救済などの活動
3. 人権救済活動
4. 地球環境保全活動
5. ハンディキャップをもった人たちの活動
6. 教育・文化などの子どもの健全育成活動
7. 医療や福祉などの活動
8. 地域コミュニティ活動(レクリエーション活動を除く)
9. 生活困窮者 自立支援活動

【応募締切】 2014年3月31日

【応募方法・応募先・問い合わせ先】

下記URLをご確認ください。

<http://www.jtuc-rengo.or.jp/info/boshuu/2014campa/chiiki.html>



岩手県社会福祉協議会 ボランティア・活動センターからのお知らせ

みなさんが暮らす地域の困りごとに、気づき、解決に向けて積極的に参加する地域づくりを進める「地域で育む福祉推進セミナー」を開催します。

お互いが支え合い、安心して暮らしていくため、自分たちの住む地域の課題に向き合うことがなぜ必要なのか、取組みによって地域がどのように変わるのか等を学びます。

講義では、地域での困りごとに向き合う効果、

住民が集まる場づくりについて、事例報告では、地元ボランティアが高齢者宅にお弁当を届ける取組み、住民同士が見守りで、困りごとの早期発見・対応を行っている事例を紹介します。

普段、地域住民とともに活動されている方、住民が主役の地域づくりに関心のある方のご参加をお待ちしています。

○講義 〈地域で育む福祉教育も意義と手法〉 講師 桃山学院大学 教授 松端 克文さん

○事例報告 〈住民参加による地域での実践事例報告〉

「地域で育む福祉教育モデル地区の取組み～住民の協力を得た配食事業～」

報告者 八幡平市社会福祉協議会安代支所 事務局次長 川又 登志子さん

「住みよい地域づくりに向けた地域住民のネットワークづくり」

報告者 奥州市社会福祉協議会 地域福祉課 主事 岩淵 達也さん

【開催日程・会場】 平成26年3月6日(木) 13:00～16:00

エスポワールいわて 大ホール(盛岡市中央通1-1-38 TEL:019-623-6251)

【お問い合わせ先・申込み先】 岩手県社会福祉協議会 地域福祉企画部

【担当: 田口美樹・佐々木沙織】 ふれあいランド岩手内 〒020-0831 盛岡市三本柳8-1-3

TEL: 019-637-8869 FAX: 019-637-7592 E-mail: miki-t@iwate-shakyo.or.jp

参加費 無 料

イベント情報

NHKエンタープライズより『フォーラム 統合失調症を生きる ～病とともに自分らしく～』開催

【日 時】 平成26年3月9日(日) 13:00～15:30(開場12:30)

【会 場】 盛岡市民文化ホール 大ホール (盛岡市盛岡駅西通2丁目9-1)

【定 員】 700名

【参加費】 無料 ※事前申込が必要

【お問合せ先・お申込先】 NHKエンタープライズ 「統合失調症フォーラム 盛岡」係 〒150-0047 東京都渋谷区神山町4-14 第三共同ビル TEL: 03-3466-0275 FAX: 03-3481-2088 URL: <http://www.forum-nep.com/tougou/morioka.html>

NPO法人シニアパワーいわてより『労務・税務・会計支援講習会開催』

NPO法人の総務、労務、税務、会計など総合的な基礎知識を学ぶ講習会です。設立して間もない団体や、担当者が新たに変わった団体などはぜひご参加ください。

【日時】 平成26年3月5日(水) 10:00～17:00

【会場】 いわて県民情報交流センター(アイーナ) 〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

【お問い合わせ・申し込み先】 NPO法人シニアパワーいわて TEL・FAX: 019-626-0098(中村)

NPOお悩み相談室

今回は「決算」編です

NPO法人が提出する基本的な会計書類は「活動計算書」「貸借対照表」「財務諸表の注記」「財産目録」です。そこで「財務諸表の注記」について説明したいと思います。

なおNPO活動交流センターでは、会計・決算の相談業務を行っております。相談されたい方は「019-606-1760」までご連絡ください。専門員不在の場合は、いただいたご相談を早急にお答えすることができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Q「財務諸表の注記」とは何ですか?

A「財務諸表の注記」は従来あまり重視されてこなかったが、NPO法人会計基準では、活動計算書と貸借対照表で伝えきれないことを補足する財務諸表と一体のものと位置付けており、必ず作成する必要があります。

Q「注記」は何を記載すればいいのですか?

A「注記」に記載する項目は、以下の10項目があります。

- 1 重要な会計方針
- 2 会計方針の変更
- 3 事業費の内訳又は事業別損益の状況(任意)
- 4 施設の提供等の物的サービスの受入の内容(財務諸表に記載の場合)
- 5 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内容(同上)
- 6 使途等が制約された寄附金等の内訳

Q「注記」を記載するための注意すべき点を教えてください。

A記載項目のうち「1 重要な会計方針」は必ず記載しなければなりません。「3 事業費の内訳又は事業別損益の状況」は任意事項ですが、複数の事業を行っている場合は記載が望まれます。それ以外は該当する項目がなければ、記載の必要はありません。たとえば固定資産や借入金があれば、当然のことながらその内訳の記載は不要です。また、以下に「1 重要な会計方針」と「3 事業別損益の状況」の記載例を紹介します。

「1 重要な会計方針」記載例

1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

1

どの会計基準に基づいて作成したか記載する。(上記はNPO法人会計基準を利用したと想定。)

「3 事業費の内訳又は事業別損益の状況」記載例

科 目	A事業費	B事業費	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益					
1. 受取会費			×××	×××	×××
2. 受取寄附金	×××	×××	×××	×××	×××
3. 受取助成金等	×××	×××	×××		×××
4. 事業収益	×××	×××	×××		×××
5. その他収益				×××	×××
経常収益計	×××	×××	×××	×××	×××
II 経常費用					
1. 人件費			×××	×××	×××
給料手当	×××	×××	×××	×××	×××
臨時雇賃金	×××	×××	×××	×××	×××
.....					
人件費計	×××	×××	×××	×××	×××
2. その他経費			×××	×××	×××
業務委託費	×××	×××	×××	×××	×××
旅費交通費	×××	×××	×××	×××	×××
.....					
その他経費計	×××	×××	×××	×××	×××
経常費用計	×××	×××	×××	×××	×××
当期経常増減額	×××	×××	×××	×××	×××

6 ● PIN Vol.4 2014.02

7



NPO活動交流センターからのお知らせ

助成金 獲得のための コツ

なぜ助成金がほしいのか? それをはっきりとさせよう!

皆さんは社会貢献などの活動をするために、何らかの助成金を申請したことがありますか? 助成金を得る上で「なぜ助成がほしいのか?」という理由は不可欠です。助成金は、助成団体という第三者から支援を受ける訳ですから、そのためには「説得」をしなければなりません。

「現在の状況。そこから見えてくる課題・問題」「それを解決するための方法」「目指すべき成果」をそれぞれ組み立てましょう。また「説得」をするためには数字を有効に使いましょう。例えば、「被災地に子どもたちが活動するための活動費がほしい」と、「被災地の●●地区には仮設住宅建設のため運動する場所がない。子どもたちが週2日体育館を利用するために年間の交通費50万円とボールなどの備品代10万円、計60万円を助成金としていただきたい。」を比べると、後者の方が説得力を増します。

助成金の情報をおつめるアンテナを張り巡らそう!

助成金の情報は、おもに以下のような場合があります。

- 1 国や県などの行政からのお知らせ
 - 2 助成団体の発行する広報紙やポスターなどのお知らせ
 - 3 社会福祉協議会やボランティア・市民活動センターの広報紙に掲載
 - 4 企業の社会貢献のお知らせ
- また、過去にどのような活動に助成金を与えているかを確認することも一つの方法だと思います。

「NPO活動交流センター」ではHPやメルマガなどで、助成金についての情報提供やアドバイスを行っておりますので、お気軽にご相談下さい。

読者アンケートの結果

前号でアンケートを実施し、たくさんの方からご意見やご感想をいただきました。その中でいくつかご紹介したいと思います。

- ・自分の見聞が広がりました。これからも拝見したいと思います。
- ・情報がコンパクトにまとまって良いと思います。少しカタい感じがするので写真やイラストを増やしてみたらいかがでしょうか?
- ・高齢者が参加できるボランティア、イベント情報を増やしてほしいと思います。
- ・初めて、この情報誌を知りました。貴重な情報があるので、もっと宣伝活動を行ってみんなに広めてほしいです。

貴重なご意見、ご感想ありがとうございます。皆様の声を参考にさらに良い誌面づくりを行っていく所存でございます。今後も「NPO・ボランティア情報誌PIN」をよろしくお願いいたします。



編集後記

情報誌PINの取材で、被災地に足を運ぶ機会が増えました。現地で復興支援について、お話を聞くと「そんな特別なことはなくていいよ。ちょっと沿岸に美味しいものを食べに来るってだけでも俺たちは嬉しいんだから。」と言われました。みなさんも家族や友人を誘って、沿岸の食べ歩きを計画してみませんか? (担当 イハタ)

NPO 活動交流センターのHPでは、様々なイベント情報や助成金情報を掲載しています。皆さまからの情報もお寄せください!

<http://www.aiina.jp/npo/index.html>

アイーナ N活

検索

【お問い合わせ】

〒020-0045

岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

いわて県民情報交流センター「アイーナ」6F
NPO活動交流センター

TEL: 019-606-1760 FAX: 019-606-1765

メールアドレス: n-katsu@aiina.jp



Twitter フォローお願いします!!!
<https://twitter.com/aiinaNPO>

Facebook いいねをお願いします!!!
<https://www.facebook.com/aiinaNPO>